

たわわ

2014
SPRING
No.90

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。

観劇会の舞台裏、お見せします

大道具も
みんなで搬入。
腰に気をつけてね。



劇団さんも
加わって
本日の打合せ



いよいよ
会員さん入場。
こんにちは



ケータイは切って、
お楽しみ下さいね!



ともにつくり、 ともに感動する仲間

ひらつか演劇鑑賞会事務局長 鈴木昌子さん

平塚で23年の活動の歴史をもつ「ひらつか演劇鑑賞会」をご紹介します。実は私達、ただ演劇を観る会ではありません…

♥観劇会はこうやって運営されています

私達の会は3人以上でサークルを作ったの入会を原則としています。年1回の運営サークルに自主的に入り、観劇会を迎えるための集まりや、広報活動、会報作り、観劇会当日は主催者となつての裏方など会の財政も含め、観劇会を迎えるために初めから終わりまでを全て運営サークルになった仲間たちと行っています。

当日は、劇団員と一緒に汗をかきながら舞台装置を搬入し、終演後にはさっきまで舞台の上で役を演じていた劇団員と共に、ひとつの大道具を何人もの手で搬出します。こんな作業に参加できるのも鑑賞会ならではの楽しみです。



第120回観劇会 劇団前進座『あなまどい』劇団の皆さんと運営サークルの顔合わせ

♥演劇の魅力

私達は年6回公演を行っています。様々なジャンルの演劇を上演しています。総じて演劇は、音楽劇、朗読劇、ミュージカル、歌舞伎、狂言など様々な形態があります。どのジャンルの観劇会を迎えても、観続ける事によってそのときに得た感性や、関心事などが、日常のなかではと気づかされ、観劇会を終えるたびに心が豊かになっていくと感じています。

(余談：この鑑賞会は全国に143団体があります。鑑賞会の歴史も今年で52年目となっています。長く観続けているある地方の会員は、けっして振り込め詐欺にひっかからないと豪語しています。それは様々な人間を舞台上で演じているのを見て来たからです。)

♥平塚と観劇

観劇会を行うたびに残念に思うのは、2会場（平塚市民センター、中央公民館）とも舞台が演劇向きではないことです。そして席も長時間座っているのが辛いという声をよく聞きます。平塚市、(公財)平塚市まちづくり財団が市民演劇フェスティバルの開催をし続けてくださっていて、ここ何年か演劇に対する市民の方の思いも観方も変わってきていると思いますので、是非芝居を観る環境作りをこれからも取り組んでいただきたいと思います。

♥観劇する人達へ

全ての観劇会では、語り継ぎたい作品、私達が今を生きることで大切なメッセージを込めて劇団が上演しています。その時に観た感動や感想を語り合う仲間の輪を広げていきましょう。

第129回観劇会
エイコーン
『アンナ・カレーニナ』
出演者 清水紘治さん
栗原小巻さん
赤羽秀之さん



『アンナ・カレーニナ』出演者全員と運営サークルの交流会での集合写真
～平塚市民センター大会議室～

♥名演・名優たち

どの観劇会もすばらしく、その中でも今は亡き三木のり平さん、賀原夏子さん、鈴木光枝さん、名古屋章さん、杉村春子さん、すまけいさん、大塚道子さん、大滝秀治さん、と名優と呼ばれた多くの方々が出演した舞台を、この平塚で観られたのはとても光栄なこと。また今井和子さんは、ひらつかでの舞台本番中にけがをし、その日はやむなく観劇会を中断延期しましたが、翌日は別の地で舞台上に立ち、役者の意地を見せていただきました。

♥運営をサポートする喜び

芝居を観終った会員さんたちが、楽しい芝居の時は笑顔に、哀しい芝居には目にうっすら涙をためて、元気の出た芝居は足取りも軽くなって会場を去る時の姿に出会えること、一つの観劇会を終えて、気持ちが共有していく瞬間だと思います。

♥これまでも、これからも

非営利団体である私達の会は持ち寄りの会です。月1回の会費納入は振込ではなく持ち寄り、年1回の運営サークルは皆の知恵と力と手の持ち寄りの結集。ホームページも開設していません。時代遅れと言われていますが、持ち寄りで、人と人とのつながりを大事にしています。自分達の活動が劇団の発展と演劇文化の向上に繋がっていることを誇りに思っています。この平塚に更に観劇の輪が広がる様活動して参ります。



第136回観劇会 文学座「くにこ」出演の
角野卓造さんの講演会
主催：神奈川県演劇鑑賞団体連絡会
～in 横浜～

【ひらつか演劇鑑賞会】

- ★1991年 創立 第1回観劇会
1991年7月19日 中央公民館
地人会 井上ひさし作 「化粧」 渡辺美佐子 一人芝居
会員 560名でスタート
- ★現在の会員数
第136回観劇会 文学座 「くにこ」 575名
- ★ご入会希望等お問い合わせ
ひらつか演劇鑑賞会 電話 0463-24-3265

ブラティスラヴァ世界絵本原画展

—絵本をめぐる世界の旅—

日本人作家も入賞！話題の国際コンクールの作品が平塚へ

ブラティスラヴァ世界絵本原画展（略称BIB=Biennial of Illustrations Bratislava）が平塚市美術館で開催されます。この原画展は、スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催されている絵本原画コンクールです。2013年に開催された第24回展（BIB2013）では、49ヶ国、362名、2,344点におよぶ作品が出品され、今や世界最大規模のコンクールとなっています。

実際に出版された絵本の原画を審査の対象にすることがこの展覧会の大きな特徴で、芸術性が高い作品や、実験的でユニークな作品が集まることでも知られています。特に第24回展では、準グランプリに相当する「金のりんご賞」を日本人作家2人が受賞するという快挙があり、大きな注目を集めました。

今回は、各国内での選考を経てノミネートされ、2013年9月にブラティスラヴァで行われた国際審査によって決定したグランプリをはじめとする受賞作品、および日本からの出品作品を紹介いたします。受賞作品以外からも注目に値する秀逸な作品を多数ピックアップし、絵本をめぐる小さな世界旅行をお楽しみいただけます。ぜひ御来館ください。



©エヴェリーネ・ラオハ、ニーナ・ヴィアレ「大洪水」の原画



©はいじまのぶひこ『きこえる?』の原画



©きくちちき「しろねこくろねこ」の原画

- 【会 場】平塚市美術館
 【会 期】2014年7月19日(土)～8月31日(日)
 【お問い合わせ】Tel 0463-35-2111 Fax 0463-35-2741
 URL <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/>
 【観覧料】一般800 (640) 円、高大生500 (400) 円
 ※ () 内は20名以上の団体料金

ひらつかの文化財を知ろう①

人形浄瑠璃「前鳥座」「湘南座」



前鳥座練習風景

平塚には前鳥座と湘南座の二つの人形浄瑠璃の団体があります。前鳥座は一体の人形を三人で操る三人遣いで、古くは四之宮人形と呼ばれ、前鳥神社（四之宮）の奉納行事として江戸時代の中ごろから始まったといわれています。江戸時代から明治時代にかけて相模国内15か所で伝承された相模人形芝居の伝統を引き継いでいます。太平洋戦争後に活動を中断するも、昭和27年に再興され、後に前鳥座と称し、昭和33年には平塚市の重要無形文化財に、昭和57年には神奈川県指定無形民俗文化財に指定されました。

湘南座は一人で操る一人遣いです。一人遣いの操法は大正末期に考案され、少女を遣い手として公演が行われました。この操法は後に人形を腰で支える胴金式が考案され、この流れの乙女文楽が茅ヶ崎に本拠を置いたことから、昭和33年

平塚市には、国、県、市それぞれが指定する文化財があります。日頃触れることの少ない、貴重な文化財について御紹介します。

には県立茅ヶ崎高校、昭和47年には県立高浜高校で指導が始められました。そして、平成2年に両校の卒業生などを中心に湘南座が設立されました。

操法の異なる座が同じ市内に存在していることは全国的に見ても極めて珍しいことです。



湘南座「壺坂観音霊験記」



前鳥座「鎌倉三代記」

両座とも自主公演のほか、ひらつか民俗芸能まつりや郷土芸能大会で公演を行っています。地域の人々によって受け継がれている伝統芸能を、ぜひ一度ご覧ください。

お問い合わせ
 平塚市社会教育課文化財保護担当
 0463-35-8124

「史跡の風景」第9回

日本史の交差点 馬入橋



馬入橋と相模川下流域

相模川の下流域、旧馬入村近くの流れは馬入川と呼ばれています。現在、日本の大動脈である国道1号線が馬入川を渡るために供用されている橋が馬入橋です。東海道線の鉄橋も



馬入の渡し碑

並行して架けられています。「馬入」の地名は源頼朝が相模川の橋供養に訪れた際に、驚いた馬が川に落ちたという伝説に由来するとされていますが、根拠はありません。

馬入地区は海沿いの相模川渡河点として古くから利用されていたはずですが、奈良時代から平安時代の駅路である東海道は四之宮地区にあった相模国府を通りますから、もっと上流を渡っていたものと思われる。馬入地区が歴史の舞台に浮上してくるのは平安時代の中頃です。更級日記（さらしなにっき）を記した菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）は、上総国（千葉県）から都へ帰る際に相模湾岸を通っていますから、相模川の下流域を渡ったと考えられます。

源頼朝が平家打倒を掲げて旗を上げると、相模国内の移動や都と鎌倉とを結ぶ幹線上の渡河点として、多くの武士や軍勢が馬入地区を行き交います。鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』によると、文治四年、伊豆・箱根・三島の三社参詣に先立って頼朝は御家人三浦義澄に対して相模川に浮橋を架けるよう命じています。平塚市博物館が所蔵、展示している鉄製の錠（あぶみ）は全国でも数少ない鎌倉時代の馬具で、昭和15年頃に馬入鉄橋の下流付近で砂利採取船によって引き上げられました。使用していたのは由緒ある武士であったと考えられ

ますが、交通の要衝ならではの資料と言えるでしょう。

江戸時代の東海道では馬入の渡しによって通行が確保されていました。明治8年に時の足柄県令から内務卿大久保利通に宛てて舟橋の設置伺いが提出されましたが、計画は実現しませんでした。明治10年には国費による架橋や国費からの借り入れによる架橋を申請しましたがいずれも許可されず、仮橋を設置したうえで通行料を徴収し、工事費に充てる計画によってようやく国の許可が下りたのです。この橋は明治11年の11月に完成しました。



陸軍架橋記念碑

その後、大雨で幾度となく壊れた馬入橋ですが、関東大地震で全壊した際には陸軍の工兵大隊2隊によって、発災の約



関東大地震で倒壊した鉄道橋の基礎が残っている

1か月後に復興されました。交通と物流を維持することは、国家の重要課題となっていたのです。橋のたもとは平塚側の工事を担当した第十六師団工兵大隊の功績をたたえる石碑が建てられています。

平塚市文化振興基金に御協力を

平塚市文化振興基金は子どもたちの心を豊かにする文化事業に活用されています。基金に御寄附くださる方は、平塚市文化・交流課まで御一報ください。御支援をよろしくお願いたします。（電話 0463-32-2235）

平塚市文化振興基金にご寄附をいただいた方

平成26年2月から平成26年4月（敬称略）

- ネットヨタ神奈川（H26.2.10）
- 湘南ステーションビル（株）（H26.2.18）
- しんわ本人自治会連合会（H26.2.25）
- 明治大学校友会神奈川県西部支部平塚地域支部（H26.4.27）



サーカスコンサート2014

新「サーカス」誕生!

～あなたとつながるハーモニー～

日時 平成26年8月30日（土）
15:00開演（14:30開場）

会場 平塚市中央公民館大ホール

入場料 全席指定 3,500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

出演 サークス/叶正子、叶高、叶ありさ、吉村 勇一

予定曲目 Mr.サマータイム、アメリカン・フィーリング、プレイバックPart2、ワインレッドの心ほか

発売日 平成26年6月1日（日）10:00から 電話予約 平成26年6月3日（火）8:30から

（公財）平塚市まちづくり財団 文化事業課（平塚市民センター内）TEL:0463-32-2237